

年度 高圧ガス製造施設検査結果報告書

提出年月日	年 月 日						
事業所名							
所属名及び報告作成者名							
特定施設	名称						
	処理容積		取扱ガス種	可燃性	可燃性・毒性	毒性	不活性
検査日	年 月 日			基準日	月 日		

項目番号	条項号	検査項目	内容及び結果	前回検査年月	今回検査年月	判定
------	-----	------	--------	--------	--------	----

1 警戒標 等

1.1	5-1-1,65f	境界線・警戒標				
1.2	5-1-29	可燃性ガスの貯槽であることが容易にわかる措置				
1.3	5-1-45	バルブ等の操作に係る適切な措置				
1.4	5-1-52	毒性ガスの識別措置・危険標識				

2 保安距離・施設レイアウト 等

2.1	5-1-2~8, 65h~ホ	保安距離				
2.2	5-1-11~13	設備間距離				
2.3	5-1-14	火気取扱施設までの距離				
2.4.1	5-1-9	区分・面積				
2.4.2	5-1-10	高圧ガス設備の位置・燃焼熱量数値				
2.5	5-1-36	防液堤内外の設備設置規制				
2.6	5-1-38,39	埋設貯槽				
2.7	5-1-51,65ト	滞留しない構造				
2.8	5-1-61	計器室				
2.9	5-1-65ハ	直射日光を遮るための措置				
2.10	5-1-65チ	ジシラン等の自然発火に対し安全な構造				
2.11	5-1-65ニ	二階建容器置場の構造				

検査日は総合気密試験実施日とすること

判定欄については、「適合」なら○、「該当なし」なら－と記載すること。

3 高圧ガス設備の基礎・耐震設計構造 等

3.1	5-1-23	基礎				
3.2	5-1-24	耐震設計構造				
3.3	5-1-64	貯槽の沈下状況測定				

4 ガス設備（導管を除く。）

4.1	5-1-15	ガス設備（高圧ガス設備を除く。）の気密構造				
4.2	5-1-16	ガス設備に使用する材料				
4.3	5-1-17,19	高圧ガス設備の耐圧性能及び強度				
4.4	5-1-18	高圧ガス設備の気密性能				

5 計装・電気設備

5.1.1	5-1-20	温度計				
5.1.2	5-1-21	圧力計				
5.1.3	5-1-33	液面計				
5.2.1	5-1-48	電気設備の防爆構造				
5.2.2	5-1-50	保安電力等				
5.2.3	5-1-47	静電気除去措置				

6 保安・防災設備

6.1	5-1-20	常用の温度の範囲に戻す措置				
6.2	5-1-21	安全装置				
6.3	5-1-22	安全弁等の放出管				
6.4	5-1-25	内部反応監視装置				
6.5	5-1-26	危険状態防止措置				
6.6	5-1-27	緊急遮断装置（特殊反応設備等）				
6.7	5-1-28	緊急移送設備				
6.8	5-1-31,32	貯槽の温度上昇防止措置、貯槽の耐熱・冷却措置				

判定欄については、「適合」なら○、「該当なし」なら－と記載すること。

6.9	5-1-34	負圧防止措置				
6.10	5-1-35	液化ガスの流出防止措置				
6.11	5-1-40	不活性ガス置換構造				
6.12	5-1-41	毒性ガス配管等の接合				
6.13	5-1-42	毒性ガス配管の二重管等				
6.14	5-1-43	貯槽の配管に設けたバルブ				
6.15	5-1-44	緊急遮断装置（貯槽配管）				
6.16	5-1-46	除害のための措置				
6.17	5-1-49	インターロック機構				
6.18	5-1-53	ガス漏えい検知警報設備				
6.19	5-1-54, 54の2	防消火設備				
6.20	5-1-55,56	ベントスタック、フレアスタック				
6.21	5-1-58	アセチレン容器の破裂防止措置				
6.22	5-1-58の2	車両に固定した三フッ化窒素容器等の破裂防止措置				
6.23	5-1-59,60	圧縮機とアセチレン・圧縮ガス充てん場所等間の障壁				
6.24	5-1-62	保安用不活性ガス等				
6.25	5-1-63	通報措置				

判定欄については、「適合」なら○、「該当なし」ならーと記載すること。

7. 1 コンビナート製造事業所間の導管以外の導管

7. 2 コンビナート製造事業所間の導管

7.1.1	9-1 (10-1)	設置場所				
7.1.2	9-2,3	地盤面上・下の導管の設置及び標識				
7.1.3	9-4 (10-1)	水中設置				
7.1.4	9-5,6 (10-1)	耐圧性能及び強度				
7.1.5	9-5 (10-1)	気密性能				
7.1.6	9-7	腐食防止措置及び応力吸収措置				
7.1.7	9-8 (10-1)	温度上昇防止措置				
7.1.8	9-9 (10-1)	圧力上昇防止措置				
7.1.9	9-10 (10-1)	水分除去措置				
7.1.10	9-11	通報措置				
7.2.1	10-2	標識				
7.2.2	10-3	腐食防止措置				
7.2.3	10-4	材料				
7.2.4	10-5	構造				
7.2.5	10-6	伸縮を吸収する措置				
7.2.6	10-7,8	接合及びフランジ接合部の点検可能措置				
7.2.7	10-9	溶接				
7.2.8	10-10~23	設置状況の確認				
7.2.9	10-24	漏えいガス拡散防止措置				
7.2.10	10-25,29	ガス漏えい検知警報設備（二重管部分を含む。）				
7.2.11	10-26	運転状態を監視する措置				
7.2.12	10-27	異常事態が発生した場合の警報措置				
7.2.13	10-28	安全制御装置				
7.2.14	10-30	緊急遮断装置等				
7.2.15	10-31	内容物除去措置				
7.2.16	10-32	感震装置等				
7.2.17	10-33	保安用接地等				
7.2.18	10-34~36	絶縁				
7.2.19	10-37	落雷による影響回避措置				
7.2.20	10-38	保安電力				
7.2.21	10-39	巡回監視車等				

8 その他

8.1	11-2	コンビナート製造者の連絡用直通電話				
-----	------	-------------------	--	--	--	--

判定欄については、「適合」なら○、「該当なし」ならーと記載すること。